

施設概要

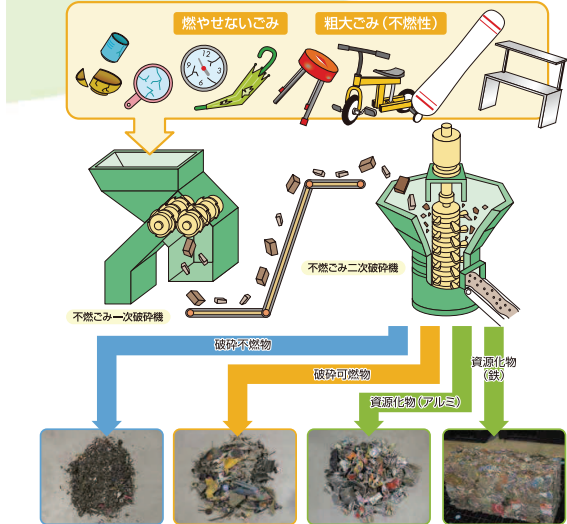
- 施設名称：山口市不燃物中間処理センター
- 施設所在地：山口市宮野下1782番地1
- 処理能力：50t/5h
 - 不燃ごみ 40t/5h
 - 不燃性粗大ごみ 5t/5h
 - 可燃性粗大ごみ 5t/5h
- 敷地面積：30,475㎡
- 建築面積：4,068㎡
- 工期：平成18年8月～平成20年5月
- 総事業費：2,277,106千円
 - 工場棟建設費 1,659,000千円
 - 管理棟建設費 298,360千円
 - 太陽光発電設置費 32,970千円
 - 設計・施工監理費 44,100千円
 - 施設用地費 304,676千円

施設配置図



破碎・選別処理の概要

搬入されたごみは、まず一次破砕機で大きめに破砕されます。次に、二次破砕機で、たたき・砕き・切断してさらに細かくし、破碎不燃物、破碎可燃物、資源物に選別されます。



山口市不燃物中間処理センター

〒753-0011 山口市宮野下1782番地1
TEL/083-941-0051 FAX/083-927-8027

- 事業主体
山口市(環境部)
〒753-0214 山口県山口市大内御堀496番地
TEL/083-941-2186 FAX/083-927-8641
- 施工監理
株式会社東和テクノロジー
〒730-0841 広島県広島市中区舟入町6番5号
TEL/082-292-8700 FAX/082-292-8163
- 設計・施工
極東開発工業株式会社
〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口6-1-45
TEL/0798-66-1010 FAX/0798-66-3432



山口市 不燃物中間処理センター

山口市

ごあいさつ



山口市長 渡辺 純忠

山口市は美しい緑や清らかな水といった豊かな自然に恵まれています。この市民共有の財産である自然環境を守り、将来に引き継いでいくためには、私たち一人ひとりが地球規模で環境問題を考え、行動していくことが大切です。

しかしながら、市民1人当たりのごみの排出量は全国平均に比べ、約2割も多い状況にあります。このため、平成19年10月に「みんなでつくる循環型都市やまぐち」を基本理念とする山口市一般廃棄物処理計画を策定し、市民・事業者・行政が協働して環境にやさしい循環型社会の構築に向け、ごみの減量やリサイクルなどに取り組んでいるところです。

このたび完成いたしました山口市不燃物中間処理センターは、破砕・選別といったごみの中間処理により、不燃ごみに含まれるアルミ・鉄を回収・資源化するとともに、粗大ごみを処理することができる施設です。

本施設の稼働により、なお一層のごみ減量・リサイクル推進を図り、持続可能な循環型社会の構築を進めることができると確信いたしております。

最後に、本施設の建設に当たり、ご理解と御協力を賜りました地元住民の皆様をはじめ、関係各位に対して心から感謝申し上げます。

平成20年6月

施設の特長



ごみに含まれる資源を回収する施設

燃やせないごみや不燃性粗大ごみを破砕・選別することにより、アルミや鉄を回収し、資源として再利用します。



環境にやさしい施設

ごみの処理工程で発生する粉じんや臭気は、施設内の各種装置により清浄化されます。また、電力の一部をセンター屋上に設置した太陽光発電設備でまかっています。



■太陽光発電設備

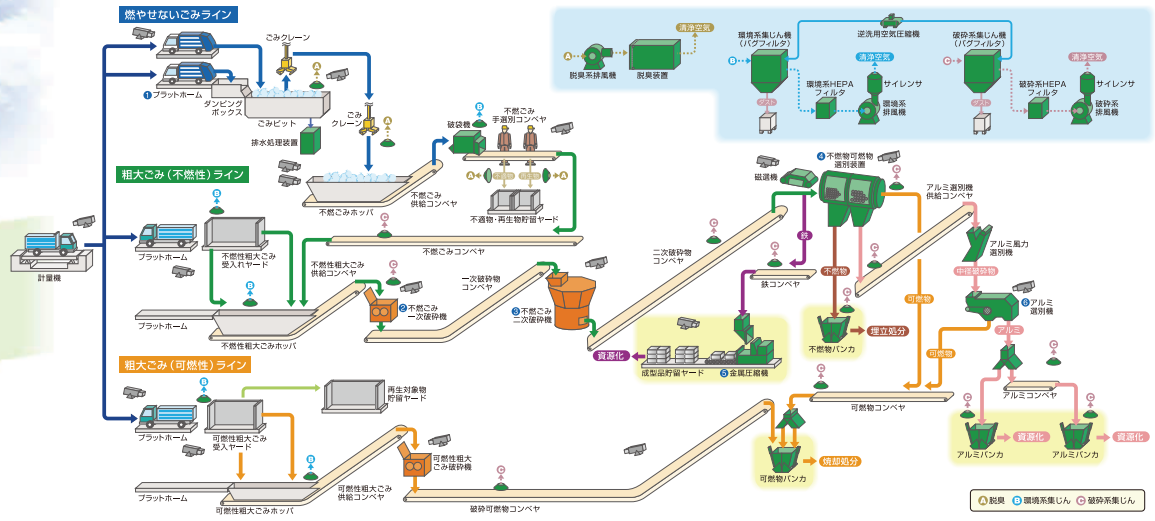


■バグフィルタ



■排水処理設備

フローシート



主な設備



- ① プラットホーム 投入されたごみそれぞれからそれぞれのラインへ送ります。
- ② 不燃ごみ一次破砕機 不燃ごみ・可燃性粗大ごみを2輪のカッターで大きめに砕きます。
- ③ 不燃ごみ二次破砕機 高速で回転するローラーで、選別しやすくなるように細かく砕きます。
- ④ 不燃物可燃物選別装置 破砕物の大きさによって、不燃物・アルミの混入した可燃物・大きいサイズの可燃物の3種類に選別します。
- ⑤ 金属圧縮機 回収された鉄屑は、金属圧縮機で圧縮し、選別しやすくします。
- ⑥ アルミ選別機 回転する磁石により発生する境界の力をを使って、アルミを選別回収します。
- 中央制御室 不燃物中間処理センター内の各機器の操作や監視をします。